

前立腺生検(脊椎麻酔)パス 入院診療計画書

患者ID
患者氏名
生年月日:
病棟(病室)

主治医
担当医
看護師
薬剤師

病名
管理栄養士
特別な栄養管理の必要性
有 無

説明日
症状 事前検査による異常所見
患部の自覚症状
(排尿困難・頻尿・腰痛)

月日	入院日・前日	検査前
患者さん目標	不安なく検査を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 検査前日の21時に下剤を内服します	朝の薬は 時 分 に()を 少量の水で内服します 9時頃から浣腸と点滴をします
検査		
食事	常食(必要に応じて治療食)です 検査前日21時以降は食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます	食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます
排泄	制限はありません	
清潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	制限はありません	病棟内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します(状態によっては車椅子やベッドで移動します)
説明 (指導)	入院生活や検査について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 手術室看護師の訪問があります	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる時はスタッフに声をかけてください)
その他		



※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。 上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

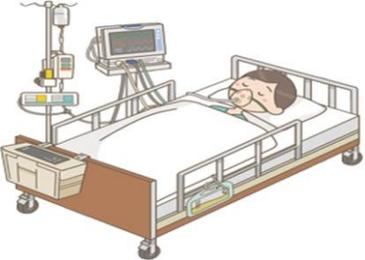
前立腺生検(脊椎麻酔)パス 入院診療計画書

URY103

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	検査後	検査後1日目
	/	/
患者目標	手術後合併症を起こさない	
治療処置注射(内服)	自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態によって変わります) 点滴をした状態で帰室します(続けて点滴をします) 眠前までに止血を確認し、ガーゼを外します	状態により尿の管を抜きます 抗菌薬を内服します
検査		必要時、血液検査をします
食事	検査5時間後に、お腹の動きが確認できたら水分(水・お茶のみ)を摂取することができます(その際はお知らせします)	常食(必要に応じて治療食)です
排泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します	歩行開始後はトイレで排便できます
清潔	翌朝まで手術着のまま観察していきます	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動(安静度)	翌朝まではベッド上で安静となります 	病棟内でお過ごしください 朝から歩行できます(初回歩行時は、看護師が付き添いをします) 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます (状態によって変更があります)
説明(指導)	医師の診察があります 麻酔の副作用(頭痛)予防のため、頭部を強く動かさないでください 尿の管の違和感や痛みが強くなる場合や気分が悪くなったり、身体に異常を感じた時はすぐにお知らせください	尿の管を抜いた後、排尿時の痛みや血尿が出るがありますが、徐々に落ち着いてきます(状態に応じて必要な対応をします)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

前立腺生検(脊椎麻酔)パス 入院診療計画書

URY103

患者氏名 (性別) 患者ID

月日	検査後2日目～退院日 / ~ /	
患者目標	日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる	
治療 処置 注射 (内服)		退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡します (不在の場合には看護師からお渡する場合があります) ネームバンドを外します 体温計を回収します
検査	必要時、血液検査をします	退院後の過ごし方、次回外来について説明をします
食事	常食(必要に応じて治療食)です	次回の外来予約票と診察券をお渡します
排泄	制限はありません	会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
清潔	尿の管が抜けたらシャワー浴ができます	
活動 (安静度)	制限はありません 	
説明 (指導)	退院後1週間は血尿や穿刺部の出血、排尿困難等が出現する可能性があるため、自転車へ乗ることや飲酒を控えてください 	
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。